

平和・共生 個性・創造 自立・発展

# 沖縄国際大学

Okinawa International University



2010おきなわマラソンで3連覇した人間福祉学科 安里真梨子さん (写真提供: 琉球新報社) 関連記事P5・12

## 学報第94号 (2010.4.1発行)

### CONTENTS

#### 第39回入学式/第14回大学院入学式

学長式辞	P2
大学院研究科長メッセージ	P2
学部長メッセージ	P2
学科長から新入生へメッセージ	P3
新副学長・常務理事インタビュー	P4
新部局館長に聞く	P4

#### 学生部だより

学生部長メッセージ	P5
平成21年度体育系サークル実績	P5
平成21年度文化系サークル実績	P6
サークルボイス(体育系)	P6
サークルボイス(文化系)	P6
キャンパス相談室だより	P7
特待奨学生卒業メッセージ	P8
体育会:平成20年度決算書/平成21年度予算書	P8
文化会:平成20年度決算書/平成21年度予算書	P8
平成21年度就職状況	P9
就職活動体験記	P9
キャリア支援課年間講座等スケジュール	P10
外国語教育支援	P10
国外留学/海外語学・文化セミナー/国外協定期派遣留学	P11
国内留学/単位互換制度	P11

#### 第38回卒業式/第12回大学院修了式

学生表彰	P12
卒業生からのメッセージ	P13
学部卒業生内訳表	P13
大学院修了生内訳表	P13
[全国大学サイト・ユーザビリティ調査2009/2010]で総合スコア第2位、私立大学では第1位と評価されました。	P14
臨床心理士資格試験に8名の方が合格しました。	P14
国連大学成績優秀者及び中間奨励者へ表彰が行われました。	P14
後援会・校友会より緊急学生対策奨学金として300万円の寄付金贈呈がありました。	P14
第33回宜野湾市交通安全キャンペーン市内一周駅伝大会において本学チームが優勝しました。	P14
あじま-34(宮平貴子)	P15

#### 学内人事

退職教職員紹介/退職・退任	P16
採用教職員紹介/併任等・昇任・配置換	P17
平成22年度事業計画	P18
平成22年度予算(概要)	P19
寄付者一覧	P20
2010(平成22)年度入学者選抜試験結果	P20
2010(平成22)年度大学院入学試験結果	P20



# 第39回 入学式 第14回 大学院入学式

## 自己を磨き人生を開花させよう!



学長  
富川 盛武  
(とみかわ もりたけ)

春うらかな今日の良き日に新入生諸君を迎え入れることが出来、喜びに堪えません。ご入学を教職員一同、心より歓迎いたします。ご父母の皆様のお喜びもいかに推察いたします。

さて、本日より諸君は大学生、大学院生としての生活がスタートします。存分に学問研究に勤しみつつ、キャンパスライフもエンジョイして頂きたいと思ます。

### (学問の意義)

教育基本法によると大学の目的は「大学は学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授、研究し、知的、道徳的及び応用能力を展開させることを目的とする(学校教育法第83条 目的)」とあります。

学術とは学問とその応用を意味する言葉であります。大学は知識も授けますが、もっと大事なことは知恵つまり英知をつけることです。知識という要素を紡いで立体的に理論化するのが知恵であります。断片的な知識だけでは知恵は生まれません。知識を真・善・美追求の法則に則り立体的に組み立てることが知恵つまり英知です。大学の学問体系は英知の涵養を目的に成り立っています。時代を遡った古典の世界、専門以外の他の領域等、一見遠回りに思えることを学ばせるのは、英知の確立のためです。文明の利器がどんなに発達しても、最終的

な判断は人間が行わねばなりません。判断力を涵養し、人間力を付けるのは学問です。

「理性は神が魂に点火した光なり」とアリストテレスは「修辞学」で述べています。つまり、学問は理性を通じて人生を花咲かせるためにあると思います。人類有史以来受け継いだ英知の累積をたかだか100年以内の寿命では会得できません。そこで英知のエキスをカプセル錠剤にしたのが学問であると思われまます。その錠剤を吸収することによって英知を体得し、自分の人生に生かし、さらに次の世代にバトンタッチできるのです。歴史上、人類は幾多の危機に瀕してきたと思います。しかし、学問に立脚した英知によって、その都度克服されてきました。

個人の場合も同じだと思われまます。人生には幾多の大波があります。それを乗り越え、切り拓く力は英知つまり学問であります。マスメディアが伝える断片的な情報に目を奪われることなく、事象、現象の動きを、しかと見て、そこにどのような法則性が見いだせるかという科学的思考にも基づき原因と結果の「メカニズム」を悟ることによって、問題解決の方向が見えてきます。さらに学問を通じて真・善・美を追究することは人間を昇華させ、生きる喜びを覚え、有意義な人生を送ることにつながります。

### (夢の実現と大学生活のエンジョイ)

本学は「学生中心主義」を基本に据え、宝石の原石である新入生を、学問・研究を通じて磨き上げ、人生が開花するよう、出来るだけ丁寧な教育に努めます。

新入生諸君も大学生活を実りあるものにするために、卒業後の人生設計をすることから始めて下さい。自らに適した職業を早めに探し、そのために、どのような科目を取り、何をすべきかを考え、戦略を練れば夢は達成されます。4年後または2年後には就職または進学が決まっていることを望みます。大学で新しい出会い、発見を通じてエンジョイすることも忘れずに楽しく有意義な大学生活を送って下さい。

### 大学院研究科長メッセージ



地域文化研究科長  
江上 幹幸  
(えがみ ともこ)

#### 将来をしっかり見据えて学ぼう

大学院にて学問を追求し研究を深化させる2年間は、個人的のみならず社会的な意味においても有意義な時間です。学問はスキルを身につけることだけではなく、学問を通じて獲得した専門的な知識と広い視野を社会貢献として還元し、自らも生涯にわたり学習していく姿勢を獲得することでもあります。大学院での学びはその一歩です。これから有意義な一歩を歩みはじめてください。



地域産業研究科長  
大城 保  
(おおしろ たもつ)

#### 転換期には大胆で斬新な発想で

地域産業研究科に入学する皆さんを心から歓迎します。研究には明確な問題意識と研究意欲、研究手段が必要です。皆さんの意識と意欲は十分でしょうか、研究手法をしっかり習得し成果を自分のものにして下さい。社会経済の大きな転換期には大胆で斬新な発想が必要です。研究に新たな視点から取り組んでください。担当教員が皆さんへの助言と指導に当たります。所期の目的が達成されることを期待します。



法学研究科長  
脇阪 明紀  
(わきさか あきのり)

#### 知的創造力の涵養

大学院においては、自主的に新しい知識の吸収に努めるべきは当然のことです。しかし、単なる法律知識の集積のみでは、知的創造物としての修士論文を作成することができないことも事実です。昨今、新聞を読まない、読書をしないう、いわゆる活字離れの傾向が社会に広まっているようですが、そのような世俗の風潮に染まることなく、優れた文学作品等にもふれることで、教養を深めることにより、文章力や思考力を養って下さい。多数の法律学の文献の精読に教養が伴って、はじめて知的生産物かつ創造物としての論文が作成できるものと思ます。

### 学科長から新入生へメッセージ



● 法律学科長 金城 和三 (きんじょう かずみつ)  
**Let's challenge!**

ご入学おめでとうございます。いよいよ沖国生としての新しい生活が始まろうとし、期待と不安でいっぱいかと思ます。大学生活にどんな目標を持っていますか? 勉強だけでなく、恋や仲間作りなどなんでもいい! 情熱を持って様々なチャレンジをしてください。



● 産業情報学科長 平良 直之 (たいら なおゆき)  
**大学生活を有意義なものに!**

大学時代は皆さんが成長するまたない時期です。勉学はもちろんのこと、大学での出会いも大切です。人の話に耳を傾け、考え、積極的に行動してください。教職員一丸となってサポートしますので、皆さんも有意義な大学生活だったと思えるよう自分に投資してください。



● 地域行政学科長 佐藤 学 (さとう まなぶ)  
**とにかく「読もう」!**

今すぐに、本を、雑誌を、新聞を手にとって、あるいはPCに向かって、文章を読んで下さい。勉強の全ては読むことから始まります。学費を無駄にしないよう、大学で学べるだけのことを学んでいって下さい。そのために、何でも良いから、とにかく読むことから始めよう!



● 日本文化学科長 山口 真也 (やまぐち しんや)  
**可能性を発見しよう**

ご入学、おめでとうございます。皆さんの目の前にはたくさんの「可能性」が広がっています。しかし、その可能性に気づかず大学生活を終えてしまう人も少なくありません。先生や友人との出会い、授業での新しい発見を大切に、視野をどんどん広げていきましょう。



● 経済学科長 松崎 大介 (まつざき だいすけ)  
**失敗を恐れず挑戦を**

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今、皆さんは大学生活に心を躍らせているでしょう。しかし、大学の4年間は瞬間に終わってしまいます。大学生活を通じて、皆さんが良き友人・良き志を見つかることを期待しています。



● 英米言語文化学科長 西原 幹子 (にしはら みきこ)  
**自主的に学ぶ力を**

自分のペースで物事をじっくり考える、という経験が出来るのは大学生の特権だと思います。浮かんだ疑問をそのままにせず、もっと知りたい! という意欲をもって、粘り強く答えを探してください。



● 地域環境政策学科長 呉 錫畢 (お そくびる)  
**Welcome to 沖国大へ!**

入学、おめでとうございます! 大学は恋をするところです。友との恋、学問との恋、書物を通しての先人との出会い、広がる恋の世界を大学キャンパスで思う存分、楽しく満喫してください。



● 社会文化学科長 田名 真之 (だな まさゆき)  
**熱中できる何かを探ること**

大学での4年間は、人生の中でもっとも自由で、束縛のない瞬間です。誰かに決めてもらうのではなく、自分の判断と責任で、様々なことに挑戦できる時間です。大いに夢を見て、理想を語り、熱中できる何かを見つけてください。自らの今と未来のために。



● 企業システム学科長 仲地 健 (なかち けん)  
**ようこそ沖国大へ!**

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大学は学問を教える場であると同時に真理を探究する場でもあります。「いま、社会で何が起きているのか?」「どうしてか?」と問い続け、友人、教員と共に学ぶ喜びを分かち合ひましょう。



● 人間福祉学科長 前堂 志乃 (まえどう しの)  
**自分の物語を紡ごう**

皆さんが青春の時を過ごすこの時代は、世界はもっと近くなり、人々の考え方や価値観の変化も早くなるでしょう。だからこそ、誰かに示された夢や道でなく、自ら考え行動し、自分の夢を育ててほしいのです。自分の内と外で起きていることを、よく見て、よく聴いて、よく考える。そして、友と、師と、学問と、社会とつながりながら、自分自身の物語を紡いでほしいと思ます。

### 学部長メッセージ



法学部長  
前津 榮健 (まえつ えいけん)  
**夢実現に向け、勉学に励もう**

入学おめでとうございます。裁判員制度の導入、政権交代等、社会は今めまぐるしく変動しています。社会のルールである法律や政治・行政の仕組みをしっかり習得すると共に、社会人に向け基本的なマナーを身に付けて下さい。これからの4年間、将来の夢の実現に向け、学生の本分を忘れることなく勉学に励むことを期待します。



経済学部長  
名城 敏 (なしろ さとし)  
**悔いのない学生生活を送ろう**

入学おめでとうございます。大学にて知識を学び、資格を取ることも大切ですが、県内、県外および国外からの学生と接して異なる言語や文化を学ぶことも大切です。小中高校と異なる環境で何を学ぶのか、何が出来るかを考えながら有意義で悔いのない学生生活を送ってください。



産業情報学部長  
大城 建夫 (おおしろ たてお)  
**自立心を育てること**

入学おめでとうございます。これから4年間の大学生活では、講義、ゼミ、サークル活動、就職活動など多くの経験をします。これらの経験を通して、社会で生きていくための自立心を育てて下さい。小さな夢でも自分自身で人生設計をたてて、実行しながら足りない部分は修正し、たどり着けるのであれば皆さんの自信にもなることでしょ。私たちが、皆さんの自立心が育つように応援したいと思います。



総合文化学部長  
葛綿 正一 (くずわた まさかず)  
**外国語を勉強しよう!**

大学に入った、その日から外国語を勉強しましょう。一日に一つの単語、二つの単語、三つの単語。外国語を通して新しい世界が見えてくるはずですよ。そして新しい友達ができるにちがありません。



## 新副学長・常務理事 インタビュー

### 学生満足度を高めよう

副学長  
**照屋 寛之**  
(てるや ひろゆき)



大学を取り巻く環境は、私達が10年前に考えていた状況とは大きく様変わりしております。このような大学を取り巻く厳しい環境の中で副学長という職務に不肖私が務まるのか、大きな不安を抱きながらの出発である。しかし、お引き受けした以上、副学長として学長を補佐し、学長の描く大学づくりを目指して労を厭わず邁進したい。

大学が学生の期待に十分に答えていくことは容易ではありません。しかし、学生を入学させた以上、期待に応え、学生生活の満足度を高めなければなりません。保護者の皆さんが沖縄国際大学に入学させて良かった、学生は沖縄国際大学で学んで良かった。そして卒業後は本学の卒業生であることに誇りをもてる大学づくりをすることは大学の責務である。同時に、今、沖縄に求められていることは人材の育成である。本学も学生を磨き、優秀な人材を社会に送り出すことによって地域社会の期待にも応えるべきである。

今、日本の企業も行政も大きく変わらざるを得なくなっている。同様に、大学も厳しい環境の中で変わらざるを得ない状況にある。良い方向に変わっていくためには、教職員が一致団結・一丸となって進んで行かなければなりません。私もその一員として、富川学長の目指す「学生中心主義」を羅針盤にして微力ながら頑張っています。

副学長プロフィール：照屋寛之(てるやひろゆき)  
1952年 沖縄県具志川村(現うるま市) 生まれ  
1977年 琉球大学教育学部卒業  
1984年 日本大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学  
1999年 沖縄国際大学法学部専任教員として採用される  
2005年～2007年 沖縄法政研究所副所長  
2008年～2010年 図書館長  
専門は政治学、行政学

### 「地域の知恵」で 大学運営の基盤充実を

常務理事  
**廣瀬 牧人**  
(ひろせ まさと)



大学は変革の時代の真っ直中にあります。今や、大学に求められている機能は、専門知識の付与にとどまらず、総合的教養教育、幅広い職業人養成、地域にとって有用な人材を育成するための教員や指導者の養成、生涯学習機会の拠点、地域協働・産学官連携・国際交流等の社会貢献など、多岐に亘っています。他方、ご周知の通り、大学経営を取り巻く環境は厳しさを増すばかりです。

本学が地域における最高学府として、時代の要請に応え、求められる機能を顕現化し持続させるためには、常に自らを省み、より良き水準を目指す「絶えざる自己改革」が必要不可欠です。

申すまでもなく、有限な経営資源の下で多様なニーズに対応して行くことは容易ではありません。全学的な協働体制と地域の皆様からのご指導・ご鞭撻があつてこそ実践可能です。学内外に亘る皆様の、言い換えれば、「地域の知恵」を仰ぎながら、本学の運営基盤が充実されることに少しでも貢献できるならば幸甚です。

常務理事プロフィール：廣瀬牧人(ひろせまさと)  
1955年 兵庫県神戸市生まれ  
1977年 北海道大学農学部農業経済学科卒業  
1980年 北海道大学大学院農学研究科修士課程修了  
1980年～1990年 兵庫県職員(一般行政職)  
1994年 北海道大学大学院農学研究科博士後期課程修了  
1995年 商経学部経済学科専任教員・産業総合研究所専任所員として採用される  
2005年～2009年 産業総合研究所所長  
専門はデータ解析論、地域特産品論

## 新部局館長に聞く



図書館長  
総合文化学部教授  
**兼本 敏**  
(かねもと さとし)

### 自分を見つめる空間

文字を読むのが苦手な学生が多いと言われるけれど、私の周辺では名著が映像化されると、それがよく話題に登っている。そのことなどを考えると学生たちの知的好奇心というものは、未だ衰えていないことがわかる。学生たちはインターネットやその他のメディアを通して、氾濫する情報に必死になって追いつこうとしている。一方、一步図書館に入るとそんな日常生活、学生生活から離れることができる。図書館では時間がゆったりと流れ、自分自身を見つめる空間となる。自己を見つめ、将来に想いを馳せるとき、その助けとなる良書に出会える場所となる。図書館では、学科の課題や研究をするだけでなく、自分自身を見つめることができる。



教務部長  
法学部教授  
**小西 由浩**  
(こにし よしひろ)

### 良い大学とは何か

良い大学とはどのような物であろうか。私たちの沖縄国際大学でも優に五千を超える学生が、それぞれの人生を歩むべくここに集う。

彼・彼女たちの一人ひとり——そしておそらくは人生の最も大切な時期——に関われることを、多くの人たちと共に考えていきたい。大学を巡る社会環境は厳しさを増しつつあるというが、それでも大学でなければ出来ないことがあるはずである。



学生部長  
経済学部教授  
**村上 了太**  
(むらかみ りょうた)

### 大学の社会的責任

私の研究分野は、経営学です。経営学のテーマの一つに、企業の社会的責任というものがあります。昨今の議論によると、企業のみならず大学にも同様の責任が問われる時代になりました。そもそも社会的責任とは、ステーク・ホルダー(さまざまな利害関係者のこと)に対する説明責任に尽きません。学生部長という視点から、学生に対して自分に何ができるか、また学生のみならず広く社会に対して何ができるかを自問自答しながら、結果として学生諸君にプラスになるような対策を練りたいと思います。

不況といわれる昨今、本学における経済的支援やキャリア支援は、本学の重要な柱でもあります。今後とも、このような取り組みを通して、また絶えざる改善も取り込んで、責任を果たしていきたいと思ひます。

## 学生部長メッセージ



### 諸君に期待する

新入生の皆さん、この度沖縄国際大学にご入学されたことを心よりお慶び申し上げます。早速ですが、学生生活を支援する学生部を代表し、ここにご挨拶を申し上げます。

まず皆さんに申し上げたいことは、沖縄国際大学への入学を人生の誇りに思ってください。入学を実現できたことは、どんな方々のおかげがあったからなのかを思い起こしてみてください。いろいろ考えたとしても、家族、先生、知人、友人、その他の方々への感謝を忘れてはならないでしょう。入学できたことに対する「ありがとう」の気持ちをどなたに伝えたいですか？

さて、本日から、多種多様で自由闊達な議論を展開させ、真理を探究するとともに、各自の目標に向かって勉学するための権利を獲得されました。そのスタート地点に立っている今、これから始まる大学生活は、皆さんの人生にとってほんの数ページの出来事かもしれません。皆さんの過ごし方によっては、数ページがもっと分厚いものにだって変わることさえあります。

これまでの生活とは激変するかもしれない大学生活がいよいよ始まるのです。少なからず自由を意識するかもしれませんし、その自由から何でもありと錯覚してしまうこともあるでしょう。そんな大学の自由な雰囲気から、つつい見失いやすいこともあります。それが何かと言えば、目標設定とか、目的ある学生生活かもしれません。何か物事を始めるには、新しい目標の設定が必要になります。その目標とは、4年後の自分の姿なのか、それとももっと先を見据えたものなのかです。もっと具体的には、立案、実行、評価というような段階を踏んで実現に近づけることも可能でしょう。

次に設定した目標を実現するにはどうすべきかを考えてください。前途が洋々であることに越したことはありませんが、時には多難に感じることもあるはず。多難な時にこそ、勇気と気概をもって乗り越えてください。果敢な姿勢で苦難や壁という多難に挑み、突破する力も必要でしょうし、時には一歩引き下がることが得策になる場合もあるでしょう。判断に困ったときは、私たちも可能な限りの支援を行いますし、なにがしかの相談に乗ることもできます。

私たちは、このような目標設定とその遂行のために努力される皆さんを応援しています。教育、経済、キャリアなど、様々な方面からの支援があり、目標実現へとつながられるような、そんな姿に期待しています。

学生部長  
**村上 了太**  
(むらかみ りょうた)



## 平成21年度体育系サークル実績

1	陸上競技部	第79回九州学生陸上競技対抗選手権大会：10000m 1位(安里真梨子) ※全日本選手権出場獲得 第61回沖縄県民体育大会陸上競技大会：10000m 1位(水野僚馬)、800m 2位(大城秀人) 第61回沖縄県民体育大会陸上競技大会：800m、3000m 1位(安里真梨子) 第27回九州学生駅伝(女子：4位、男子：9位) 第2回沖縄県男子総合駅伝競走大会(優勝) 2010大阪国際女子マラソン：16位(安里真梨子) おきなわマラソン2010：1位(安里真梨子)、第1回高雄国際マラソン大会5位(喜友名菜苗)
2	男子バレーボール部	第21回全日本ビーチバレー大学男女選手権大会：4位(池間智暖、野原隆光)
3	女子バレーボール部	九州大学バレーボール女子リーグ：4部3位、仲村彩友美(サーブ賞)
4	硬式野球部	第82回九州地区大学野球選手権大会：(1回戦敗退)
5	男子ハンドボール部	第18回九州学生ハンドボールリーグ春季大会：3位(2部) 第18回九州学生ハンドボールリーグ秋季大会：2位(2部)
6	女子ハンドボール部	第18回九州学生ハンドボールリーグ春季大会：3位(1部)、永田志織(優秀選手賞) 第18回九州学生ハンドボールリーグ秋季大会：3位(1部)、永田志織(優秀選手賞)
7	女子バスケットボール部	第3回沖縄県大学バスケットボール選手権大会：優勝 第16回全九州バスケットボールリーグ戦：7位(2部1位) 第43回総合選手権大会：優勝(九州派遣)
8	卓球部	第60回全九州学生春季選手権大会：男子団体(2部昇格)、女子団体1部6位(2部降格) 第60回全九州学生秋季選手権大会：男子団体2部(3位)、女子団体2部(優勝)
9	バドミントン部	第58回九州学生バドミントン選手権大会：団体男子B(準優勝)、男子シングルスA：大城真吾(ベスト16) 平成21年度沖縄県学生シングルス選手権：シングルス準優勝(志喜屋光太) 平成21年度沖縄県夏季学生テニス選手権：シングルス準優勝(石村幸慎)
10	硬式テニス部	第3回沖縄県学生ゴルフ選手権：優勝(桃原研吾)、団体戦：1位 九州学生ゴルフ選手権競技：21位(桃原研吾)
11	ゴルフ部	第20回屋我地サイクルロードレース大会：42位(福田祐太)、50位(大濱正義)
12	自転車競技部	第28回沖縄県空手道選手権大会：男子個人形優勝(喜友名諒)、女子個人形準優勝(崎間あおい) 第50回全九州学生空手道選手権大会：個人形2位(喜友名諒) ※全日本個人戦出場
13	空手道部	第48回全日本学生なぎなた選手権大会出場
14	なぎなた部	第3回全日本学生テコンドー選手権大会 女子-62kg&-67kg 第1位(稲福千景)
15	テコンドー(個人)	





▼平成21年度文化系サークル実績

1	放送研究部	第26回NHK全国大学放送コンテスト参加
2	琉球芸能文学研究会	「双葉踊り」宮古島公演
3	吹奏楽部	第35回九州アンサンブルコンテスト出場：金賞
4	琉球風車	「第35回エイサー祭り」大阪遠征
5	鼓舞楽団浦風	「創作エイサーコンテスト」「全沖縄子供エイサー祭り」「東アジア太平洋音楽祭」参加
6	Dream&Magic	ボランティア活動(NPO法人プロミスキーパース衣類提供)、学生交流party、冲国大祭後夜祭イベント
7	ペーパークラフトサークル	作品展示会(普天間高校図書館)
8	EARTH FROGS	第7回全国大学生環境活動コンテスト参加(ecocon2009)

サークル  
ボイス

体育系

第3回全日本学生テコンドー選手権大会優勝!!

私はテコンドーという競技を練習しています。テコンドーとは韓国の国技で、華麗な足技で得点を競い合うスピード感あふれるスポーツであり、武道精神を重んじ、老若男女問わずに楽しめる武道です。テコンドーを漢字で書くと「跆拳道」になり、「跆」は、踏む・跳ぶ・蹴る等の足技、「拳」は突く、叩く、受ける等の手技、「道」は武道を意味します。テコンドーはオリンピック競技でもあり、シドニーオリンピックでは岡本依子さんが銅メダルを獲得したのを覚えている方も多いのではないでしょうか？

去年11月、私は沖縄国際大学を代表して、全国学生大会に参加しました。友達や家族、そして沖縄国際大学からの声援を受けて、優勝できました。テコンドーは日本ではまだまだ普及段階なので、もっといろいろな人たちに知ってもらい、体験してほしいと思います。



産業情報学部  
産業情報学科2年次  
中国湖北省武漢市湖北大学  
付属中学高等部出身  
稲福 千景  
(いなふく ちかげ)

文化系

夢と魔法の学府！沖国大へようこそ！！

私は、沖縄国際大学への入学が決まった時点で4年間でのビジョンを自分自身の中で描きました。「自分で決めた以上、何があっても目標をクリアしていく事、必ず達成するという気持ちを曲げずに」学生生活を送る中、「Dream&Magic」という学生団体を設立し、代表を務めさせてもらっています。

団体では多くの大切な仲間達と共にジャンルを問わないイベント等の企画・運営から社会貢献活動と様々な事にチャレンジをしています。

企画を通し、人との絆や瞬間を大切にすることで、大きく成長することができました。また、幸い時期に多くの方々にサポートして頂き周りの人達に感謝することを学ぶこともできました。

今の私があるのも沖縄国際大学に入学できたからだだと思います。この大学には、人を引き寄せる力強い魅力で溢れています。

これからも目標を明確にし、初心を忘れず感謝の気持ちを持って日々精進して行きたいです。「人生は一度だけ」納得できる生き様を残して行きたいと強く思っています。皆さんの学生生活が掛け替えのないものになる事を願っています。



経済学部  
経済学科4年次  
沖縄尚学高校出身  
喜友名 優季  
(きゆうな ゆうき)



キャンパス相談室だより

本学は、学生の心の悩みを和らげるために、キャンパス相談室を設置しています。相談室では専門のカウンセラーが、対人関係全般の悩み、ハラスメントに関する悩みなどの相談に応じます。

	月～金
開室時間	13:00～18:00
相談時間	13:30～17:30

キャンパス相談室のご案内

★ひとりで悩んでいないで、よかったら話に来ませんか？

学生生活では、ささいなことからも、あれこれと悩みや迷いが生まれてくる場合があります。こうした問題は、うまく対処すれば、それまでの自分のカラを破り、新しい自分を見つけ出す手がかりとなるかもしれません。

困ったな、何かうまくいかないなと感じたとき、少し自分を振り返ってみたいと思ったとき、遠慮なくお訪ねください。あなたの話をお聴きします。深刻ではないけれど、ちょっと聞いてみたいなどという相談もお待ちしております。

なお、来室したことも含めて、プライバシーを守ります。出会いの場として「ティーアワー」や「お弁当会」を定期的で開催しています。

★例えばこんなとき

人間関係で悩んでいる、ハラスメントを受けているかもしれない、自分の性格について知りたい、やる気が出ない、体調がすぐれない、心配なことがある、集中できない、気分が晴れない、眠れない、勉強の意欲がわかない、生活の調子がよくない、適性や進路などで迷う、リラックス法を知りたい などなど・・・

**場所** 3号館1階の印刷室横にあります。  
**開室時間** 開室時間は、毎週月～金曜日の13:00～18:00です。  
**相談時間** 相談時間は、13:30～17:30です。  
**利用方法** (予約制) 相談をする際には、キャンパス相談室で予約をとってください。  
**TEL: 098-893-3934 E-mail: consult@okiu.ac.jp**  
 ※予約がない場合は、予約と同時に面接を受けることもできます。  
 ※教職員から紹介してもらうことも可能です。  
 ※家族や友人との来室も可能です。



相談員紹介



沖 育朗  
(おき いくろう)  
学生カウンセラー2年目です。のんびりとした性格で、リラックス法が専門です。

どうも調子が良くないというときには、視点を変えてみると良いのかもしれない。そのお手伝いをしたいと思っています。お気軽にお越しください。



宮良 綾子  
(みやら あやこ)  
ハラスメントの専門相談員です。ハラスメントの相談と言うと、何か堅いところや

怖いものというイメージをもたれるかもしれませんが、相談員の役割は、相談者が話すことによって問題を整理し、解決への一歩を踏み出せるようお手伝いすることです。ハラスメントに関するいろいろな情報も提供します。どうぞお気軽にお越し下さい。



上野 未由希  
(うえの みゆき)  
学生カウンセラーの上野です。学生の皆様のお話をうかがって、一緒に考えていき

たいと思っています。定期的にお弁当会という交流会もしています。お気軽に相談室にいらして下さい。



## 特待奨学生卒業メッセージ

### 日々努力することが大事



産業情報学部  
企業システム学科卒業  
首里高校出身  
**宮里 幸明**  
(みやざと こうめい)

4年前、私は国公立大学への受験に落ち、この沖縄国際大学に入学しました。しかし、不本意な気持ちで入学したわけではありません。諸先輩方から「どこへ所属するかではなく、そこでどれだけ頑張るか大事」と教えられました。その結果が、3年連続して特待奨学生に選ばれたのだと自負しております。嬉しさと同時に、ますます頑張らなければならないと自分を自制し、励ましてきました。

ここで学んだこと、出会った仲間、4年間はとても有意義なものでした。大学のサポートは充実しており、学業、アルバイト、検定、イベント、就職活動、遊びや旅行など、今やりたいことに取り組むことができました。

これからも大学への感謝の気持ちを忘れずに、次のステージでも努力してまいります。ありがとうございます。

### 「支えて下さった皆さんへの感謝」



法学部  
地域行政学科卒業  
球陽高校出身  
**金城 由梨花**  
(きんじょう ゆりか)

私は、大学入学以来、公務員を目指し精一杯の勉強をしてきました。

3・4年次と特待生に選ばれたことで学習意欲が増し、夢に向かう大きな心の励みをいただきました。

私自身、公務員への道には、専門学校での学びも重要なものという思いがありました。そのような時に、この特待奨学金が役立ち、公務員の専門学校にも通うことができました。

共に学びあった多くの学生の中から特待生に選出して頂いたことには、他の学生への恐縮する思いもありました。とともに、支援して下さる方々には、「合格」で応えなければという思いで一杯でした。

その思いが叶い、市役所に現役で合格することができました。

今ここで、私を支援して下さった大学関係者の方々と、一緒に学びあった仲間、そして家族に心より感謝を申し上げます。有難うございました。

### 沖縄国際大学体育会

■平成20年度決算書(単位:円) 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	14,931,500	事業費	16,160,338
寄付金	0	登録費及び参加料	0
雑収入	9,797	運営費	521,832
前年度繰越金	4,820,505	予備費	0
		次年度繰越金	3,079,632
合計	19,761,802	合計	19,761,802

■平成21年度予算書(単位:円) 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	15,572,000	事業費	17,732,000
寄付金	1,000	登録費及び参加料	1,000
雑収入	9,000	運営費	621,000
前年度繰越金	3,079,632	予備費	307,632
合計	18,661,632	合計	18,661,632

沖縄国際大学体育会は、体育運動を通じて学生・教員及び職員の心身を練磨し人格の向上を図るとともに、スポーツマンシップを養成し、あわせて会員相互の親睦と本学の発展に寄与することを目的とする。

### 沖縄国際大学文化会

■平成20年度決算書(単位:円) 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	10,886,000	事業費	4,887,266
寄付金	0	登録費及び参加料	182,800
雑収入	6,022	運営費	240,000
前年度繰越金	0	予備費	0
		次年度繰越金	5,581,956
合計	10,892,022	合計	10,892,022

■平成21年度予算書(単位:円) 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	12,474,000	事業費	14,481,000
寄付金	1,000	登録費及び参加料	2,300,000
雑収入	6,000	運営費	355,000
前年度繰越金	5,581,956	予備費	926,956
合計	18,062,956	合計	18,062,956

沖縄国際大学文化会は、文化活動を通じて学生及び職員の人格的陶冶を図り、文化活動を継承・創造する人材を育成し、文化活動による社会貢献の実践を促進すると同時に、会員相互の親睦と本学の発展に寄与することを目的とする。

## 平成21年度 就職状況

就職先を決める事は、皆さんの卒業後の人生を左右する大切な選択です。しかし『就職活動は初めての体験』どんな風に進めたいのか不安や迷いがあるのは当然です。キャリア支援課では、就職ガイダンスや履歴書添削、模擬面接をはじめ、各採用試験対策講座、OB・OG就職懇談会など様々な就職行事を企画し、皆さんの就職活動をサポートしています。まずは、行動する事が第一です。悩んでいないで、気軽にキャリア支援課に足を運んでください。

### 就職サポート

#### ◆就職資料室の充実

県内外企業からの求人票、企業個別ファイル、就職情報誌、公務員関係試験要項、大学院学生募集要項、その他就職に関する諸資料を取り揃えています。企業研究に大いに活用してください!!

#### ◆「Live Campus 就職システム」による迅速な情報提供

就職システムでは就職情報、就職行事、企業セミナー日程等の検索が可能です。年間500件を超える求人や約3,000件の企業データがいつでも入手でき、各就職ナビへの接続も容易で会社説明会へのエントリーや最新の就職情報収集に活用されています。学内外どこからでもアクセスでき、希望者には就職情報のメール配信も行っています。

#### ◆企業説明会、公務員・教員採用試験制度説明会の開催

学内において、各企業の採用説明会、国家公務員、教員採用試験制度説明会を行っています。2009年度は、企業説明会を36回、公務員・教員採用試験制度説明会を5回開催しました。

#### ◆就職模擬試験、適性検査の実施

就職模擬試験、公務員採用模擬試験、その他適性検査を行っています。

2010年度の主な予定は次のとおりです。

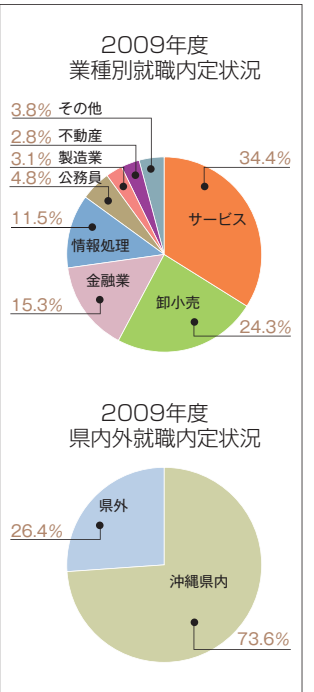
- ①SPI能力検査 ②社会人基礎力診断テスト ③就職模擬試験(一般常識、作文) ④教員採用模擬試験
- ⑤地方公務員採用模擬試験

#### ◆インターンシップ

夏期休業期間を利用して、企業や官公庁などでインターンシップを実施しています。2009年度は、226名の学生が実習に参加し、就業意識形成や職業に対する理解を深める貴重な体験をしました。

### 平成22年度 就職関係行事予定

月	行事内容	月	行事内容	月	行事内容
4	就職ガイダンス(就職マナー、面接について) 企業採用説明会開始 学内合同企業説明会	8	教員二次対策講座 インターンシップ(企業実習)	12	就職内定者体験報告会 就職模擬試験(一般常識、作文)
5	教員採用試験制度説明会 警察官採用試験制度説明会 地方公務員、教員採用模擬試験	10	就職対策セミナー OB・OG就職研究会 就職Web登録		インターンシップ報告会 4年次就職内定者相談会
6	就職講演会	11	就職講演会 公務員試験ガイダンス 社会人基礎力診断テスト	2	SPI能力模擬検査 就職試験対策講座(教員、公務員、資格試験)
7	インターンシップ事前ガイダンス			3	就職準備セミナー 国税専門官試験制度説明会



## 就職活動体験記



### 大阪府警察官A

経済学部 地域環境政策学科卒業  
那覇西高校出身  
**大城 美香**  
(おおしろ みか)

私は、「将来公務員になりたい」と思っていました。教職課程を取ってみたい、市役所でインターンシップしてみたい、どれも公務員の仕事ではありませんが、「何か違うな…」と感じていました。元々、婦人警官に憧れていた私は、警察官の説明会に参加したり、警察の方に直接話を伺ったりするうちに、自然と「警察官になりたい」と思うようになりました。それから警察官になる為の勉強開始です。試験までの間、同じ志を持つ人、共に勉強できる人、相談できる人がいたおかげで、勉強が苦にならず継続できたと思います。さらに目標を成し遂げたという感動や喜びは、大きな自信になりました。

4月からは親元を離れ県外で働きます。働けるという事に感謝し、仕事の厳しさと様々な価値観を肌で感じながら更に成長していきたいです。

大学生活、自分のやりたいこと、興味があることに時間を使えば、自ずと将来の道は見えてくるはずです。大学生に与えられた時間を有効に！そして一期一会を大切に…。



### 株式会社 琉薬

経済学部 経済学科卒業  
浦添高校出身  
**松竹 和樹**  
(まつたけ かずき)

私が大学に入学した時の目標として、「大学生活で、今しかできないことを、悔いが残らないように全力で行う」をモットーとし、どのように時間を有効に使うかを考えて活動しました。

就職活動をするにあたって、試行錯誤しながら様々な経験をする事が自信になり、将来に繋がると思い、学業と就職活動を両立しようと頑張りました。正直、両立は大変で、どちらかを諦めようと思ったりもしていました。しかし、「大変=大きく変化すること」という言葉をきっかけに、「きつくて大変だと思っている時こそ、自分の成長に繋がっているのだ!!」と考えるようになりました。

それからは、就職活動だけでなく、全てに対して前向きに取り組み、最後まで諦めずに挑戦し続けました。その結果、第一志望の企業から内定を頂くことができました。

大学生活は、自分と向き合うことのできる最高の時間です。今の自分と真剣に向き合い、充実したキャンパスライフを送ってください。



▼平成22年度 キャリア支援課 年間講座等スケジュール

No.	講座名	説明会		募集期間	講座期間
		開催日	時間(予定)		
1	簿記3級対策講座 平成22年6月検定向	4/2(金)	13:30	4/2~4/9	4/13~6/11
	簿記3級対策講座 平成22年11月検定向	7/16(金)	14:40	7/16~7/30	9/28~11/16
	簿記3級対策講座 平成23年2月検定向	12/3(金)	13:30	12/3~12/17	1/7~2/25
2	色彩検定対策講座	4/9(金)	13:30	4/9~4/23	5/13~6/21
		7/9(金)	14:40	7/9~7/23	8/18~10/27
3	国内旅行業務取扱管理者講座	4/9(金)	13:30	4/9~4/23	5/11~9/2
4	話しことば検定2級・3級対策講座	4/9(金)	13:30	4/9~4/23	5/13~7/2
		7/16(金)	13:30	7/16~7/30	10/12~12/3
5	行政書士対策講座	4/16(金)	13:30	4/16~4/30	5/17~11/1
6	宅地建物取引主任対策講座	4/16(金)	14:40	4/16~4/30	5/18~10/15
7	医療事務・医療事務コンピュータ講座	4/16(金)	13:30	4/16~4/28	5/10~7/22 (医療事務講座) 8/2~5 (医療事務コンピュータ講座)
		7/16(金)	13:30	7/16~7/30	10/5~12/17 (医療事務講座) 2/15~18 (医療事務コンピュータ講座)
8	福祉住環境コーディネーター2級講座	4/23(金)	13:30	4/23~5/6	5/25~7/2
9	簿記2級対策講座 平成22年11月検定向	5/7(金)	13:30	5/7~5/21	6/17~11/15
	簿記2級対策講座 平成23年2月検定向	10/15(金)	13:30	10/15~10/22	11/15~2/25
10	ITパスポート試験対策講座	5/21(金)	13:30	5/21~6/4	6/16~10/16
11	PC検定3級「文書作成」対策講座	5/28(金)	13:30	5/28~6/4	6/25~8/6
12	PC検定3級「データ活用」対策講座				
13	速読講座	7/2(金)	13:30	7/2~7/30	8/10~8/25
		1/7(金)		1/7~1/28	2/21~3/7
14	ファイリング・デザイン検定2級/3級対策講座	7/2(金)	13:30	7/2~7/23	8/10・11
15	3級FP技能士対策講座9月検定向 (ファイナンシャル・プランナー)	7/2(金)	13:30	7/2~7/30	8/3~8/31
		1/7(金)		1/7~1/28	H23.3/1~3/29
16	秘書技能検定準1級・2級対策講座11月検定向	7/9(金)	13:30	7/9~7/23	8/10~11/2
		1/7(金)		H23.1/7~1/21	2/28~3/12他実習日あり
17	ホームヘルパー2級対策講座	7/9(金)	13:30	7/9~7/23	8/2~14他実習日あり
		1/7(金)		H23.1/7~1/21	2/28~3/12他実習日あり
18	サービスマン専門士	7/9(金)	13:30	7/9~7/23	8/23・26
		1/7(金)		H23.1/7~1/21	3/15・17
19	介護事務講座	7/9(金)	13:30	7/9~7/23	8/16~27
		1/7(金)		H23.1/7~1/21	3/15~23
20	公務員試験(H23年度向け)対策講座	10/1(金)	13:30	10/1~10/15	10/19~H23.6/18
21	社会保険労務士対策講座	11/5(金)	13:30	11/5~11/12	12/3~H23.8/23
22	カラーヒーリング講座	1/7(金)	14:40	H23.1/7~2/5	H23.3/9~3/11
23	パーソナルカラー講座				H23.3/7~3/9
検 定 試 験	販売士3級検定試験(試験のみ)	試験:7/10(申込:5/24~6/17)、試験:2/16(申込:12/16~1/24)			
	販売士2級検定試験(試験のみ)	試験:10/6(申込:8/20~9/13)			
	ビジネス能力検定(B検)2・3級(試験のみ)	試験:7/4(申込:4/1~5/18)、試験:12/5(申込:9/1~10/19)			
	法学検定試験3級・4級(試験のみ)	試験:11/14(申込:10月上旬予定)			

★日程変更、新規講座等は随時掲示版でお知らせします★

外国語センター  
外国語教育支援

多言語多文化時代を生きるために

私たちは外国語を学習することで言語文化の多様性に目覚め、異なる文化に属する人々に対する寛容な精神を養うことができると言われます。

このことは、地球がボーダレス化し、多種多様な言語文化を持つ国々と共存しなければならない時代にある私たちに外国語を学ぶ意味と意義を改めて教えてくれます。本学では、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、韓国語、そして外国語としての日本語を学ぶ人々のために年間をとおして色々なプログラムを実施しています。このプログラムを積極的に利用して、多言語多文化への知識と理解を深める糸口として下さい。

◆2010年度 各種語学検定試験の実施予定

- ①TOEIC IP:10名以上の受験生があれば本学にて実施
- ②実用英語技能検定試験：準会場として年間3回実施
- ③日本語検定試験：準会場として年間2回実施
- ④実用フランス語技能検定試験：6月本学・11月琉球大学実施予定
- ⑤韓国語能力試験：9月本学実施
- ⑥ドイツ語技能検定試験：11月琉球大学実施予定

◆セミナー&対策講座

- ①英語宿舎セミナー(夏期実施)
- ②英検準1級対策講座(前期・後期)
- ③英検2級対策講座(前期・後期)
- ④TOEIC 対策講座
- ⑤韓国語能力試験対策講座
- ⑥フランス語検定試験対策講座
- ⑦中国語検定試験対策講座
- ⑧TOEFL 対策講座
- ⑨日本語能力試験対策講座(前期・直前)
- ⑩ドイツ語検定試験対策講座
- ⑪スペイン語検定試験対策講座(前期・後期)

◆スピーチ・コンテスト

- ①英語スピーチ・コンテスト
- ②中国語スピーチ・コンテスト
- ③韓国語スピーチ・コンテスト
- ④日本語スピーチ・コンテスト

◆ランチタイム英会話

日時：月～金 12:00～13:00  
場所：5号館2階 語学ライブラリー前

秘書技能検定準1級

総合文化学部 人間福祉学科  
心理カウンセリング専攻 4年次  
コザ高校出身

宮城 みちる

(みやぎ みちる)



秘書技能検定準1級合格しました！！

本学の資格取得講座では、2級の基礎から準1級までの対策を行いました。言葉遣いや文書の書き方など社会人のマナーは、学生の私には馴染みの薄いものばかりでしたが、基礎から学ぶことができ、楽しく受講できました。また、先生の実体験を交えた指導は非常に分かりやすく、質問にも熱心に答えていただけました。

秘書技能検定を受検したことで、自分自身の言葉遣いを意識するようになったことが一番の変化です。

夏休みに「何か目標を持って頑張りたい」と思い、「秘書技能検定準1級合格」の目標を掲げた8月からおよそ半年、合格通知が届いた今は、喜びと充実感でいっぱいです。

秘書技能検定に合格したことで、「学生のうちに多くのことにチャレンジしよう！」とますます前向きに考えられるようになりました。

ファイナンシャル  
プランニング技能検定2級

経済学部 経済学科 4年次  
普天間高校出身

屋良 司 善

(やら もりよし)



成長の為にチャレンジ！！

私がこの資格を受験した目的は、自分の将来において明確な人生設計をしたい、その過程で損をしたくないという想いからです。また、金融業界で働きたいと思っていたので、業界研究にも活用できるからでした。

F P技能検定は出題が広範囲で、知識を大まかに把握でき、金融の入り口として、とても役に立つ資格だと思います。F Pの知識をベースに、更なる専門資格へステップアップすることも可能なので、金融に興味がある方にはお勧めです。

資格取得に費やせるまとまった時間をやりくりし易いのは、大学生の間が適していると思います。時間を有効に活用し、どんな資格でもいいので、自分の成長の為にぜひチャレンジしてみてください。



国外  
留学

海外語学・文化セミナー／国外協定短期派遣留学

海外姉妹校 ①東海大学(台湾)②韓南大学(韓国)③澳門(マカオ)大学(中国)④カイロ大学(エジプト)  
⑤レンヌ第2大学(フランス)⑥マッコリー大学(オーストラリア)⑦ヘンダーソン州立大学(アメリカ)  
沖縄国際大学は、2010年4月1日現在、海外の7つの大学と姉妹校協定を締結し、交換留学制度による学生の交流を積極的に推進しています。

◆海外語学・文化セミナー

〈実施予定大学：東海大学・韓南大学・マッコリー大学・ヘンダーソン州立大学等〉  
「海外語学・文化セミナー」は、長期休暇(夏期・春期)中の約4週間を利用して、外国語研修や異文化体験・外国事情の理解等を主な目的として実施されます。これらのセミナーは、いずれも正規の授業科目(共通科目・国際理解科目群)に含まれ、全学生が履修できます。従って、それぞれのセミナーに参加し、所定の要件・研修成果を満たした学生には4単位が認定されます。

- 2010年度実施予定の全セミナーに関する「募集説明会」を2010年(H22年)5月上旬に開催予定。
- 2010年度実施予定の全セミナーのうち、春期実施予定の東海大学・マッコリー大学でのセミナーに関する「募集説明会」を2010年(H22年)11月下旬に開催予定。

◆3週間の韓国文化体験

総合文化学部 英米言語文化学科 3年次 北谷高校出身

坂下 麻紀 (さかした まき)

私は8/2~8/23の3週間、念願の韓国へ海外語学・文化セミナー生として行きました。その3週間で多くのことを経験しました。午前は韓国語の勉強をし、午後は韓服やテコンドーなどの韓国文化体験、またショッピングやパーティーなど、数え切れないほど経験しました。韓国での3週間は毎日とても楽しく、見るもの経験することすべてが新鮮で魅力的でした。親元を離れて生活する不安や、また異国の地で生活するという不安な気持ちもあったけど、私たちの世話をしてくれる現地の方達がとても親切に助けてくれたので、安心して生活することができました。念願の韓国だったので、そこで楽しく生活できとても嬉しかったです。更に韓国に興味を持つきっかけにもなりました。3週間という長いようで短い時間だったけれど、それは私にとって決して忘れる事のできない大切な思い出、そして経験になりました。



◆マカオ大学での交換留学

経済学部 地域環境政策学科 4年次 普天間高校出身

村上 なつ (むらかみ なつ)

私は2009年1月から約1年間、中国のマカオ大学に交換留学生として派遣されました。マカオは以前ポルトガルの植民地だったため、今でもポルトガルの文化が残り、一見ヨーロッパを思わせる町並みが見られます。ポルトガルと中国文化に同時に触れられるこの不思議な場所で、私の留学生活は始まりました。マカオ大学では全ての授業が英語で行われますが、大学の外に出れば広東語や中国語が飛び交っており、語学学習のモチベーションが上がりました。最初の頃は英語の授業が怖かったのですが、優しいクラスメイト達に助けられ段々と慣れていきました。学生の9割は中国人ですが、欧米やアフリカなどの国からの留学生も多く、それぞれの文化や考え方に触れ、インターナショナルな環境が楽しめました。休暇中には中国各地(桂林、北京、台湾…)やフィリピンへ旅行するなど、非常に濃厚な年を過ごすことができました。この1年で視野が大きく広がり、語学だけではなく人間的にも成長できたと思います。このような素晴らしい機会を与えてくれた国際交流センターの皆さんと、マカオで出会った多くの友人達に感謝しています。



国内  
留学

単位互換  
制度

県外単位互換協定校

- ①札幌学院大学 ②名城大学
- ③京都学園大学 ④桜美林大学
- ⑤熊本学園大学 ⑥松山大学

※本学では、左記の6つの県外単位互換協定校へ、毎年20人程度の学生を、半年または、1年間交換派遣しています。協定校で履修した科目は年間40単位(4年間で60単位)までを限度に本学卒業単位として認定されます。

桜美林大学 リベラルアーツ学群派遣

国内留学を通して

総合文化学部 日本文化学科 3年次 普天間高校出身

村田 淳哉 (むらた じゅんや)

私は、昨年の4月から9月までの半年間、東京にある桜美林大学へ国内留学をしてきました。私が、国内留学をしようと思った理由は、県外へ出て自分の視野を広げたいと思ったからです。又、親元を離れ一人暮らしを通して成長したいと考えたからです。そして私は日本の中心である東京の大学に行きたいと思い、桜美林大学への留学を決めました。

上京して最初に苦労したことは電車の乗り方でした。沖縄には電車がなかったので、最初の頃は目的地まで行くのにとっても時間がかかり本当に大変でした。しかし、人に聞くとどうやって行くのか丁寧に教えてくれました。このような些細な優しさに助けられ、本当に嬉しく思いました。学校生活では、沖国から一緒に留学した友人とフットサルサークルに

入りました。そこで知り合った桜美林の方々とお台場に行ったり、ディズニーランドへ行ったり等、有意義な生活が出来ました。

又、一人暮らしを通して洗濯や自炊など全て自分でやらなければならず、当たり前と思っていた実家での生活がどれだけ親に頼っていたかに気づき親の有り難さを痛感しました。そして、沖縄に帰る際には自分のために送別会を開いてくれたり、空港に見送りに来てくれるなどサークルのみなさんにはとてもよくしてもらい、育った場所、生活する場所は違っても人の温かさは変わらないと感じとても感動しました。

自分にとって半年間はとても短く感じましたが、こんな短期間の留学生活で学んだ事は多く、一生忘れられない貴重な思い出となりました。

この留学をさせてもらった親や東京で自分に関わった方々に感謝の気持ちを忘れず、今後の自分の人生に活かしていきたい。



# 第38回 卒業式

## 第12回 大学院修了式



第38回卒業式並びに第12回大学院修了式が3月19日午後1時より、本学の講堂兼体育館で挙行政され、学部1,257人、大学院35人の計1,292人が就職や進学などそれぞれの目標や夢に向かって巣立っていきました。

富川学長は告辞の中で「諸君は4年間あるいは2年間本学で勉学、研究を積んできました。各学科で体系立てられた学問を学び、社会で生きていく上で必要な「ソフィア(知恵)」を体得しました。社会に出て、臆することなく、存分に活躍してください。

世は未だ大不況のまっただ中にあり、理不尽な所得格差、地域格差も存在しています。また世界では犯罪、紛争、戦争など人を貶めることが後を絶ちません。

歴史上、人類は幾多の危機に遭遇してきたと思います。難局を乗り越える手段は「ソフィア(知性)とエトス(心柱)」しかありません。人類有史以来受け継いだ英知のエキスをカプセル錠剤にしたのが学問であり、知識を真・善・美追求の法則に則り立体的に組み立てたのが学問です。「ソフィア(知性)とエトス(心柱)」を具備して、社会で存分に活躍して頂きたいと思ひます。

しかし、それは常に、注ぎ足さねばなりません。卒業後も「知性と心の研磨」怠らず、継続してください。自分を信じ、夢が叶うことを信じ、研磨を続けてください。」と述べ卒業生を激励しました。



卒業生を代表して経済学部経済学科の佐藤正人(さとうまさと)君(名護高校出身)は「四年前の四月、私達はここで入学式を迎えました。長いと感じていた四年間の大学生活も、本日で最後だと思うとそのあまりの早さに驚いてしまいます。

個性豊かな学友や先生方、多くの社会の方々との出会いや新しい経験を通して、多くの知識を得ると同時に、笑いや感動、時には悲しみや悔しい思いなど、実に様々な出来事がありました。その一つひとつが現在へと繋がり、これからの力となっていくことでしょう。

大学生活の中で、高校時代にはあまり無かったレポートは、初めは四苦八苦しながらも、徹夜をして書いたものでした。夏休みにはゼミ合宿を行い、勉強よりも夜の飲み会がメインになったことは楽しい思い出です。その他にも、大学祭や部活などを通して、友情を深めた人もいます。明日からはそれぞれ新しい道を歩んでいくことになります。就職して社会人として生活を始める者、専攻する学問を更に追究すべく進学する者など様々ですが、この四年間で培った経験や知識が、新しく歩んでいく人生の中で大きな力となることを確信してやみません。

今日まで私達に温かい励ましと真摯なご指導をくださった諸先生方、様々な形で私達の生活を支えてくださった職員の皆様、四年間の大学生活を支えてくれた家族に心から御礼を申し上げ、沖縄国際大学のより一層の発展をお祈りします。」と答辞を述べました。

### 学生表彰

#### ◆学長賞◆



総合文化学部 英米言語文化学科卒業  
(沖縄キリスト教大学院大学より編入)  
**渡久地 未樹子** (とぐち みきこ)

渡久地さんは、平成20年度第4回おきなわ文学賞(沖縄県文化振興会主催)小説部門において一席(県知事賞)に選ばれました。受賞作品は「黒い星」と題した中篇小説で、作品集『はなうる』(沖縄県文化振興会)に掲載され、出版されています。また、本学図書館主催の平成20年度書評・映画評コンテストでも受賞するなど、旺盛な読書意欲をもって勉学に励んでおり、今後のさらなる活躍が期待されています。

#### ◆学長賞◆



総合文化学部人間福祉学科卒業(南部商業高校出身)  
**安里 真梨子** (あさと まりこ)

安里さんは、本学陸上競技部に所属し、2010年1月の大阪国際女子マラソンで2時間43分1秒(16位)と10年ぶりに県記録を更新、その他、日本学生陸上競技対抗選手権大会で1万円に出場し、自らの持つ県記録を16秒縮める34分57秒98で県記録を更新しました。おきなわマラソンでも大会3連覇するなど輝かしい成績は九州陸上界のトップアスリートとして、本学の知名度向上に多大な貢献を果たしてくれました。

### 卒業生からのメッセージ



地域文化研究科  
英米言語文化専攻修了  
北中城高校出身  
**兼久 美和子**  
(かねく みわこ)

大学院生活当初は、マンツーマンの授業スタイルに驚き、研究の高いハードルに悩まされ、未知の領域に不安を感じました。しかし、献身的なご指導をしてくださった先生方や大学職員の方々、家族の支えによって、自らの力で研究に励み、自らの力で発見する喜びを味わえるようになりました。

論文作成の過程では、挫折や葛藤を何度も繰り返す日々を苦しみました。しかし、その苦難を乗り越えて研究に励み続けることによって、自分自身の視野が広がり、物事を深く追求していくことの意義深さを学びました。

学ぶことに終わりは無く、常に向上し続ける必要があると思います。今後は、大学院で得た独学の意味と継続の力を活かし、教育の現場で次の世代の子供たちに、自らの力で自らの道を切り拓くことの大切さを伝えていきたいと思っています。



総合文化学部  
日本文化学科卒業  
浦添高校出身  
**加屋本 真理子**  
(かやもと まりこ)

私の大学生活は、仲間や家族に支えられ、様々な経験を通して自分自身を向上させる事のできたとても貴重な四年間だったと感じます。特に三年生から四年生にかけてのインターンシップや就職活動などは、自分自身と向き合う事のできた時間になりました。就職活動は先の見えない不安に何度も押し潰されそうになりましたが、支えてくれた家族や先生のおかげで内定を頂く事ができました。また、学園祭や数々の学科行事でも思い出がたくさんあり、そのような充実した大学生活を過ごせたのは、共に四年間歩んできた仲間のおかげであり、みんなへの感謝の気持ちでいっぱいです。

大学を卒業し社会人として新たな一歩を踏み出す今、不安や焦りもありますが大学生活での経験を糧にし、周囲の人に感謝の気持ちを忘れず、飛躍していきたいです。



総合文化学部  
社会文化学科卒業  
読谷高校出身  
**花城 辰法**  
(はなしろ たつり)

私の大学生活は、多くのことを学び、とても充実した4年間でした。私は1年次から教職と博物館学芸員の過程を履修し、4年間通じた専門的なカリキュラムで力をつけることができました。その集大成とも言える実習では、現場を見、体験することでその仕事の難しさ、面白さを肌で感じたことを覚えています。

部活動は吹奏楽部とピアノエレクトーンサークルに入り、吹奏楽部では人生初の九州派遣、ピアノサークルでは部長として活動するなど、とても実りの多いものでした。

学業と部活動の両立は大変でしたが、教職員の方々や仲間、そして家族の支えもあり、4年間頑張る事ができました。この4年間をやり遂げた今の充実感、達成感はとても大きなものです。この経験を活かし、これからも努力を怠らずに頑張っていきたいです。

### ▼ 学部卒業生内訳表

学部	学科	(単位:人)			◆9月卒業生 (単位:人)		
		男	女	合計	男	女	合計
法学部	法律学科	71	48	119	2	0	2
	地域行政学科	77	47	124	1	0	1
経済学部	経済学科	93	28	121	4	0	4
	地域環境政策学科	74	33	107	3	0	3
産業情報学部	企業システム学科	62	67	129	0	0	0
	産業情報学科	86	38	124	2	1	3
商経学部	経済学科	1	0	1	0	0	0
	日本文化学科	41	80	121	0	2	2
総合文化学部	英米言語文化学科	45	103	148	0	2	2
	社会文化学科	32	48	80	0	0	0
	人間福祉学科	59	124	183	0	1	1
合計		641	616	1257	12	6	18

### ▼ 大学院修了生内訳表

研究科	専攻	(単位:人)			◆9月修了生 (単位:人)		
		男	女	合計	男	女	合計
地域文化研究科	南島文化専攻	4	7	11	0	0	0
	英米言語文化専攻	1	1	2	0	0	0
	人間福祉専攻	1	4	5	0	2	2
地域産業研究科	地域産業専攻	9	1	10	0	0	0
法学研究科	法律学専攻	5	2	7	0	0	0
合計		20	15	35	0	2	2



## 「全国大学サイト・ユーザビリティ調査2009/2010」で総合スコア第2位、私立大学では第1位と評価されました。

沖縄国際大学のサイトが「全国大学サイト・ユーザビリティ調査2009/2010」(日経BPコンサルティング調査)において、総合スコアで第2位、私立大学では、第1位と評価されました。

調査実施期間は2009年10月13日～12月2日で、調査項目全64項目、7つのカテゴリーに分けてチェックされた結果、総合スコアが88.50となり、全国165の大学サイト中で第2位となりました。私立大学では、第1位となり、サイトの使い勝手が評価されたこととなります。

(※調査対象サイト 全国の大学165校(国立大学68、公立大学11、私立大学86))

この調査は、今回で6回目(第1回:2004年版、第2回:2005年版、第3回:2006/2007年版、第4回:2007/2008年版、第5回:2008/2009年版)となり、今年度のスコアは、調査始めて以来、最高スコアとなりました。(今回は、前回の6つの評価カテゴリーに、新たに「ブランディング」カテゴリーが加わり、調査項目が増えております。)

本学は、これまででもサイトの使いやすさの向上に努めており、この結果の詳細を分析し、改善を行い、今後も一層、使いやすいサイトを目指し、大学の情報をわかりやすく公開していくために、努力してきたいと考えております。

これからも沖縄国際大学のウェブサイトをご覧ください。

過去の調査順位、スコアは、以下のとおりです。

回	総合スコア順位	調査項目数	総合スコア
第6回 (2009/2010年版)	2位 (全国大学165校中)	64項目	88.50
第5回 (2008/2009年版)	3位 (全国大学200校中)	62項目	84.01
第4回 (2007/2008年版)	3位 (全国大学200校中)	62項目	75.68
第3回 (2006/2007年版)	7位 (全国大学200校中)	61項目	58.27
第2回 (2005年版)	60位 (全国私立大学120校中)	51項目	39.60
第1回 (2004年版)	25位 (全国私立大学180校中)	40項目	54.11

※各調査報告書より

## 臨床心理士資格試験に8名の方が合格しました。



1月28日、平成21年度臨床心理士資格試験合格者が富川盛武学長を表敬訪問しました。

本学からは今年度大学院修了生で8名の方が合格し、代表して4名の修了生が報告を兼ねて人間福祉学科教員と共に富川盛武学長を表敬訪問しました。

臨床心理士とは日本臨床心理士資格認定協会が認定している資格で、小・中・高校でのスクールカウンセラーや病院、企業など様々な分野で活躍が求められている資格です。

今回の合格で本学大学院出身の臨床心理士は13名で合格率は81.2%となり、全国平均65.5%と比較しても高い合格率となっています。

## 後援会・校友会より緊急学生対策奨学金として300万円の寄付金贈呈がありました。



2月12日、後援会、校友会より緊急学生対策奨学金として、それぞれより150万円、合計300万円の寄付金贈呈がありました。

贈呈式には、後援会、校友会関係者の方々が富川盛武学長を訪ね目録を贈呈しました。

贈呈式で池田光男後援会長は「昨年引き続き厳しい状況にあり、緊急奨学金の緊急の名称が一日も早くなくなるよう願っております。」と述べられました。

上原秀雄校友会会長は「厳しい景気動向で、特に学生には人生において大切な時期であり、勉学に励んでもらえるよう校友会としてもサポートしていきたい。」と述べられました。

富川学長は「昨年に引き続き後援会、校友会よりそれぞれ150万円の浄財をいただき心より感謝致します。リーマンショック以降、家計も大変困窮しており、大学としても今後とも学生のサポートをしていきたいと考えております。」と感謝を述べられました。

## 国連大学成績優秀者及び中間奨励者へ表彰が行われました。



2月16日、2009年度国連大学私費留学生育英資金貸与事業の成績優秀者及び成績優秀者中間奨励学生への表彰が行われました。

この事業は、国連大学が貸与した資金を返還している学生の中から、特に学業成績が優秀な学生を各協力大学より選定し授与される制度です。

本学からは、成績優秀者に企業システム学科4年次関宇平(カン・ウヘイ)君(中国出身)、成績優秀者中間奨励者に人間福祉学科社会福祉専攻2年次兪兵(ユ・ヘイ)君(中国出身)の2名が選ばれました。

新垣副学長は、「本学にとっても名誉な事です。関宇兵君は、本学の卒業生として社会で立派に活躍して下さい。兪兵君は、残りの2年間これまで以上に勉学に励んで下さい。おめでとうございます。」と述べられました。

## 第33回宜野湾市交通安全キャンペーン市内一周駅伝大会において本学チームが優勝しました。



1月23日、交通事故防止をアピールすることを目的とした第33回宜野湾市交通安全キャンペーン市内一周駅伝大会が行われました。

今大会には68チームのエントリーがあり、本学からも2チーム参加し、交通安全をPRしながら上位を目指して頑張りました。結果は、2位に2分以上の大差で優勝しました。もう1チームも27位と大健闘しました。

沖縄国際大学は、今後も交通安全を広く市民に呼びかけ、地域行事へ積極的に参加していきたいと考えております。

## あじまー

※あじまー: 沖縄方言で交差点の意  
卒業生から後輩へのメッセージのコーナー

# 34

あじまー34は、映画監督として活躍している宮平貴子さんに登場いただきました。

## 「DON'T TAKE EASY SOLUTION.」 (安易な方法に逃げるな)

### 大学時代の思い出

自主制作映画製作を始めたのは大学時代。当時の友人が発起人となって映像制作チームを結成し、短編映画を制作、学祭で上映したことはかけがえない思い出です。

また、当時は日本語教師になる夢があり、台湾への短期交換留学や、本土へのインターンシップなど興味があることは積極的に参加しました。

### 映画監督を目指すきっかけ

前から映画は好きでしたが、在学中、友人の映像制作を手伝ったことで「作る事」に興味を持ちました。ただ映画監督の夢が明確にあったわけではなく、ヘタなりに作るうち「次はもっといい作品を」と、映像制作の魅力に引き込まれました。

最大の転機は、大学4年時にカナダ人映画監督のカメラ助手を経験したこと。長編映画の現場を体験し、初めて「自分がやりたいことはこれだ」と思いました。



### 映画「アンを探して」制作時のエピソード

映画業界という華やかなイメージを持たれるかもしれませんが、他の芸術と違い、観客に届くまでに完成・公開までに数年という長い月日がかかるので、情熱以上に忍耐力が要求される世界だと思います。助監督時代から師匠のクロード・ガニオンに繰り返しいわれたのは「Don't take easy solution. (安易な方法に逃げるな)」。仕事に近道はないということです。「アンを探して」も初めから監督をすと決まっていたわけではなく、二年間かけて共同脚本を書く中、原案のユリプロデューサーとの間に確かな信頼関係を築けたからこそ、監督を任せていただけました。

海外との共同製作映画ということで、カナダ人・日本人スタッフ・キャストとの混成チームの中、監督としての意思疎通が難関として捉えられがちですが、「伝えたいこと」がありさえすれば、その手段としての言語は大きな問題ではありません。脚本に惚れ込んで参加を決めた美術監督マルテン・ジャンドロ(「アビエイター」)やその他のベテランスタッフが、当時30才にも満たない私に「As you wish! (貴方の思うままに)」という柔軟な姿勢で挑んでくれたことに、驚きと同時に、真のプロ精神を感じました。逆に、自分の中に強い意志が欠けていたり、相手に理解しようという心がなければ、意思疎通は難しい。それはどの国で、どのような仕事をして、同じだと思えます。



## 宮平貴子 (みやひら たかこ)

- 1997年 沖縄県立那覇高校卒業
- 1998年 沖縄国際大学文学部英文学科入学自主制作映画を作り、学園祭で上映しはじめる。
- 2002年 冬、クロード・ガニオン監督と出会い『リバイバル・ブルース』でカメラ助手を担当沖縄国際大学文学部英文学科卒業フリーランスで沖縄で映像制作に携わる。
- 2003年 冬、日加共同製作映画『KAMATAKI-焔焚-』の助監督としてカナダに渡る
- 2005年 『KAMATAKI-焔焚-』モントリオール世界映画祭で五部門受賞
- 2006・2007年 『アンを探して』脚本執筆開始・ドキュメンタリー『炎の声-Fire Artist-』の編集担当日加共同製作映画『アンを探して』撮影。初監督デビュー
- 2009年 『アンを探して』完成・全国公開。シンガポールの映画祭でグランプリ・最優秀監督賞の二冠達成
- 2010年 沖縄タイムス芸術選賞 奨励賞受賞



「アンを探して」公式サイト  
<http://www.grandjete.jp/lookingforanne/>

### 後輩へのメッセージ

私自身への戒めでもありますが、今は、世界とすぐにつながり、知りたい情報が簡単に入手可能になった一方、「一人で全て出来る」と錯覚しやすい時代でもあります。しかし、人との出会い・付き合いから学ぶことは多い。それに何か一つのことを追求し続けることはいつでも難しく、継続・実践したことで得た経験は最高の財産です。また、古風と言われそうですが、尊敬できる師を見つけたら、その人からどん欲に学ぶことも、仕事に限らず、人生の大きな糧になると思います。



# 学内人事


## 退職教職員紹介

(平成22年3月31日付)

### 教職員からひとこと

- ①勤務年数
- ②主な担当科目

**教育職員**



副学長  
総合文化学部  
人間福祉学科  
教授  
**新垣 誠正**  
(あらがき せいしろう)

①在職22年  
②倫理学、生命哲学

沖縄国際大学で充実した日々を過ごすことができましたのも、先生方、事務の方々、学生たち、関係者の皆様のおかげだと心から感謝しています。

**教育職員**



経済学部  
経済学科  
教授  
**金城 規克**  
(きんじょうのりかつ)

①在職30年  
②芸術学、情報文化論

沖国大で過ごした30年思い出多き事がたくさんありました。それが私の財産です。ありがとうございます。本学の発展を祈念します。

**教育職員**



経済学部  
経済学科  
准教授  
**井本 伸**  
(いもと しん)

①在職7年  
②マクロ経済学、財政学

たくさんの出会いと経験がありました。大学教員としてのキャリアを本学でスタート出来たことをとても幸運に思います。皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

# 学内人事


## 採用教職員紹介

(平成22年4月1日付)

### 教職員からひとこと

- ①最終学歴
- ②主な担当科目

**教育職員**



経済学部  
経済学科  
講師  
**浦本 寛史**  
(うらもとひろし)

①ニューヨーク大学大学院芸術学部芸術学修士課程修了  
②芸術論、情報と社会、マルチメディア表現

この度、芸術、文化、情報系を担当します。学生が社会にでて、役に立つ理論と実践を共に学んで行きましょう。宜しくお祈り致します。

**教育職員**



総合文化学部  
日本文化学科  
講師  
**田場 裕規**  
(たば ゆうき)

①兵庫教育大学大学院学校教育研究科教科領域教育学専攻修士課程修了  
②日本文学講読、国語科教育法演習、基礎演習

古典文学と国語科教育を担当します。学生の皆さんとともに豊かな学びを旨として、頑張ります。どうぞよろしくお祈り致します。

**教育職員**



総合文化学部  
社会文化学科  
講師  
**石垣 直**  
(いしがき なおき)

①東京理科大学大学院社会科学研究科博士課程単位取得退学 博士(社会人類学)  
②文化人類学概論I・II、アジア文化概論、多民族論

故郷の大学で教壇にたてることを嬉しく思います。「異文化」との比較を通じて、沖縄の過去・現在・未来について一緒に考えていきましょう。どうぞよろしくお祈り致します。

**教育職員**




経済学部  
地域環境政策学科  
教授  
**来間 泰男**  
(くりま やすお)

①在職40年  
②経済学、沖縄経済史

40年間勤めましたが、外も内も大きく変わりました。時代に合った新しい大学の道を探っていただき。皆さん、お世話になりました。

**教育職員**




産業情報学部  
産業情報学科  
教授  
**伊禮 武志**  
(いらい たけし)

①在職35年  
②会計コミュニケーション論、会計情報論

皆様の公私にわたるご厚情と御指示により、35年間の教育・研究生活を大迫なく終えることができました。厚くお礼を申し上げます。皆様の益々の御活躍と本学の発展をお祈りいたします。

**教育職員**



総合文化学部  
社会文化学科  
教授  
**石原 昌家**  
(いしはらまさいえ)

①在職40年  
②平和学概論

私の研究は、学生の母親、職員、同僚先生からの聴取から出発したので、皆様は私の恩人で宝でした。また、自由にモノが言える大学を誇りに自慢してきたので、その学風の継承を強く願っています。

**教育職員**



総合文化学部  
人間福祉学科  
教授  
**森田 満夫**  
(もりた みつお)

①在職15年  
②教育の制度、教育の思想と原則、教職研究II、道徳教育の研究、教職総合演習

オキナワから教育・人権・平和を考える15年間を下さった、沖縄国際大学を誇りに思います。本当に本当にありがとうございます。

**教育職員**



総合文化学部  
社会文化学科  
准教授  
**鳥山 淳**  
(とりやま あつし)

①一橋大学社会学研究科後期博士課程修了(社会学)  
②平和学概論、社会学論I・II

地域の姿をしっかりと見つめながら、いま社会がどのような問題を抱えているのか、今後どうあるべきかを学ぶ場をつくっていきたく考えています。よろしくお祈り致します。

**教育職員**



総合文化学部  
人間福祉学科  
教授  
**小柳 正弘**  
(こやなぎ まさひろ)

①熊本大学大学院社会文化科学研究科博士後期課程修了(哲学)  
②倫理学概論、倫理学I・II、倫理学ゼミ、哲学的人間論

人間と倫理とを媒介する「自由」がどのようなものとして可能かを社会哲学の立場から探究したいと思っています。よろしくお祈り致します。

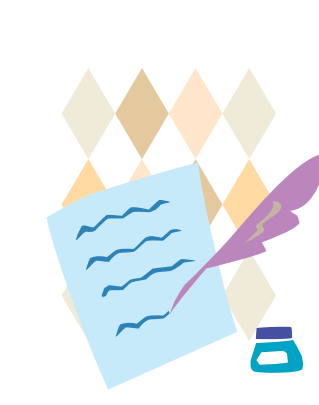
**教育職員**



総合文化学部  
人間福祉学科  
講師  
**福島 賢二**  
(ふくしまけんじ)

①一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得  
②教育の思想と原則、教育の制度、道徳教育の研究

教育の奥深さを一緒に考えていきましょう。話す際に名古屋弁がたまにでます。寛容さを求めます。どうぞよろしくお祈り致します。



**事務職員**



学生部  
キャリア支援課  
副参事  
**新川 宣安**  
(あらがわののぶやす)

①在職35年4ヶ月

すばらしい学生・教職員並びに校友会・後援会をはじめ多くの大学関係者に恵まれ、大変充実した35年間でした。心から感謝致します。皆様のご健勝と本学の益々の発展を祈ります。

**事務職員**



学生部  
学生課  
副参事  
(後援会事務室)  
**知念 悦子**  
(ちねん えつこ)

①在職45年

統合により旧沖大から移籍し、再任用に至る45年間、語り尽くせない程の思い出がよみがえってきます。先輩、後輩、教職員の皆様にはお世話になりました。感謝申し上げます。ホットな中にも涼とした雰囲気、教職員が丸となって、大学が更なる発展を遂げることをお祈りします。

**事務職員**




総務部  
管財課  
課長補佐  
**野国 清**  
(のくに きよし)

①在職16年

在職16年間に、5つの建物の新築で電気主任として設備にたずさわってきました。これからは、健康に気をつけて第二の人生を頑張りたいと思っています。ありがとうございました。

**事務職員**



教務部  
学務課  
社会福祉実習助手  
**高石 豪**  
(たかいし こう)

①在職3年

本学で多くを学びました。教職員の皆様に感謝申し上げます。日々ご多忙と思いますが心と体を大事にして頂きお仕事頑張ってください。

**事務職員**



経営政策室  
係員  
**佐藤 敬明**  
(さとう とうしあき)

①沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科卒業

学生・教職員そして地域のみならず、社会がどのような問題を抱えているのか、今後どうあるべきかを学ぶ場をつくっていきたく考えています。よろしくお祈り致します。

**事務職員**



総務部  
総務課  
係員  
**大城 鈴香**  
(おおしろ すずか)

①琉球大学法文学部国際言語文化学科卒業

本学を支える一員としての自覚を持ち、大学の発展に貢献できるよう一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお祈り致します。

**事務職員**



教務部  
学務課  
係員  
**喜世川 悠**  
(きよかわ ゆう)

①高知大学理学部数理情報科学科卒業

いつまでも初心を忘れず、精励の心で、本学の発展のために全力で勤めたいと思います。どうぞよろしくお祈り致します。

**事務職員**



総務部  
管財課  
係員  
**金城 洋一**  
(きんじょうよういち)

①沖縄大学法経学部法経学科卒業

これまでの経験を生かして、沖縄国際大学のより良い環境づくりのために一生懸命頑張ります。よろしくお祈り致します。

## 退職・退任

**【退職：教育職員：3月31日付】**

役職名	氏名	勤続年数
経済学部教授	嘉手川 繁三	23年

\*特任職員・教授として引き続き本学にて勤務

**【退職：事務職員：3月31日付】**

役職名	氏名	勤続年数
総務部総務部長	仲本 兼信	40年1カ月
経営政策室参事	知念 勇仁	35年3カ月

\*再任用職員として引き続き本学にて勤務

**【退任：教育職員：3月31日付】**

役職名	氏名	職名
常務理事	前村 昌健	産業情報学部教授
学生部長	新垣 實	総合文化学部教授
図書館長	照屋 寛之	法学部教授
国際交流センター所長	名城 敏	経済学部教授
経済学部長	大城 保	経済学部教授
産業情報学部長	砂川 徹夫	産業情報学部教授
地域産業研究科長	大城 建夫	産業情報学部教授
情報センター所長	又吉 光邦	産業情報学部教授
産業総合研究所長	廣瀬 牧人	産業情報学部教授
南島文化研究所副所長	狩俣 恵一	総合文化学部教授

## 併任等・昇任・配置換

**【併任等：教育職員：4月1日付】**

役職名	氏名	旧職名
副学長	照屋 寛之	法学部教授
常務理事	廣瀬 牧人	産業情報学部教授
学生部長	村上 了太	経済学部教授
図書館長	兼本 敏	総合文化学部教授
国際交流センター所長	新垣 實	総合文化学部教授
経済学部長	名城 敏	経済学部教授
産業情報学部長	大城 建夫	産業情報学部教授
地域産業研究科長	大城 保	経済学部教授
情報センター所長	大井 肇	産業情報学部教授
産業総合研究所長	宮森 正樹	産業情報学部教授
南島文化研究所副所長	田名 真之	総合文化学部教授

**【昇任：教育職員：4月1日付】**

新職名	氏名	旧職名
経済学部准教授	永田 伊津子	経済学部講師
産業情報学部教授	仲地 健	産業情報学部准教授
総合文化学部教授	片本 恵利	総合文化学部准教授
総合文化学部准教授	知名 孝	総合文化学部講師

**【昇任：事務職員：4月1日付】**

新職名	氏名	旧職名
教務部教務事務部長	山里 肇	総務部管財課長
図書館図書課長	徳原 峰一	教務部学務課長補佐
学生部学生課係長	安谷屋 美紀	学生部キャリア支援課主任
総務部会計課係長	桃原 真紀	総務部会計課主任

**【配置換：事務職員：4月1日付】**

新職名	氏名	旧職名
総務部総務部長	大城 健太郎	教務部教務事務部長
教務部学務課長	比嘉 安直	国際交流センター課長
国際交流センター課長	金城 智子	図書館図書課長
総務部管財課長	比嘉 美昭	学生部キャリア支援課長
学生部キャリア支援課長	山里 洋	教務部学務課長
教務部学務課長補佐	宮国 克枝	図書館図書課長補佐
学生部学生課長補佐	安仁屋 宗行	教務部学務課長補佐
教務部学務課係長	中山 かつら	学生部学生課係長
図書館図書課係長	玉代 勢尚茂	学生部学生課係長
学生部キャリア支援課係員	我那覇 いくみ	教務部学務課係員
教務部学務課係員	上江洲 安理	総務部総務課係員
図書館図書課係員	兼村 ゆり香	総務部会計課係員

**事務職員**



総務部  
会計課  
係員  
**大城 沙織**  
(おおしろ さおり)

①沖縄国際大学総合文化学部英米言語文化学科卒業

沖縄国際大学でお世話になった感謝の気持ちと、これから支えていく使命感を持ち、精一杯頑張りますので、宜しくお祈り致します。

**事務職員**



教務部  
学務課  
社会福祉実習助手  
**砂川 亜紀美**  
(すなかわ あきみ)

①沖縄国際大学大学院地域文化研究科修了

学生の意欲を様々なチャンスに繋ぐよう精一杯支援すると共に、自らも学び成長出来るよう頑張ります。宜しくお祈り致します。





## I 事業計画の基本方針

大学設置の増加、国立大学の法人化、18歳人口の継続的減少、大学全入時代への加速度的進行等私立大学を取り巻く経営状況は厳しさを増しており、平成18年度は帰属収支差額比率（帰属収入－消費支出／帰属収入）が0%以下のイエローゾーンの大学が179校で、-20%以下のレッドゾーンの大学が80校となっており、また平成19年度には定員割れになった私立大学の割合が39.5%（221校）であり、入学者が定員の70%に満たない大学は前年の62校から73校に増加した。さらに平成21年度の「私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団 私立学経営情報センター）」によると、入学定員割れした私立大学数は46.5%に達している。

このように、近年の私立大学を取り巻く経営環境は急激な変化を遂げているが、厳しい競争環境の中で、競争優位を獲得し、そして、それを維持・発展させるためには、本学は絶え間なく教育・研究の質的充実・向上を図るとともに財政基盤の強化をはからなければならない。また、学生本位を根底に据え、志願者の獲得、学士力の向上、キャリア教育と就職支援の充実、国際交流の拡充、学生のための大学施設整備を進めていく必要がある。

このような私立大学を取り巻く経営環境の現状認識と問題意識に基づいて、本学が今後とも大学の社会的役割を十全に果たしうるように学部及び大学院の教育・研究の質的充実・向上をはかることを基本方針として、平成22年度においては38項目の事業を計画する。事業計画はその計画内容によって個別構造計画と個別業務計画に分類される。前者の個別構造計画は経営の基本構造の変革・変更に関する戦略的な意志決定であるのに対して、後者の個別業務計画は、現有の経営構造を前提とした経常的な業務活動の変更・改善に関する戦術的な意志決定である。なお、平成22年度事業計画は、中長期経営計画（自平成22年4月1日～至平成26年3月31日）と連動した形で策定される。中長期経営計画および平成22年度事業計画の基本方針を踏まえて、個別構造計画では新規に「学生募集対策強化事業」を盛り込み、また個別業務計画においては、情報化に関する事業、奨学金の整備、厚生会館の整備、県外就職サポートサービスの導入といった学生サービスの拡充、創立40周年記念事業の推進を盛り込むことによって、より良い大学の構築を目指して事業を計画し進めていく。

## II 個別構造計画

1. エコアクション21認証・登録 2. 学生募集対策強化事業

## III 個別業務計画

### 1. 教育・研究に関する事業

- (1) 組織的FDの推進
- (2) 時間割編成方針の改善（「シーリングの算出基準の見直し」を含む）
- (3) 教養教育・共通科目（テーマ科目群・外国語科目群を含む）の在り方の改善
- (4) 入試の改善
  - 1) 県外入試説明会の増設
  - 2) 久米島、宮古、八重山地区大学説明会
  - 3) 県外高校訪問
- (5) ティーチングアシスタント(T・A)及びチューデントアシスタント(S・A)制度の導入
- (6) 自己点検・評価活動結果を大学改革にフィードバックするシステムの構築
- (7) 特別研究費計画書の実質審査制度の確立
- (8) 経済学部教育改革に関する総合的調査
- (9) 公開講座の充実
- (10) 教員免許状更新講習の開設、運営

### 2. 情報化に関する事業

- (1) 学内LAN・情報コンセントの整備・拡充
  - 1) 事務側LAN支線再敷設
  - 2) 無線LAN検疫システム・APリプレイス

- (2) 電子ジャーナル関連資料(または、オンラインデータベース)の導入推進
- (3) 学術成果リポジトリのリプレイス
- (4) 事務業務支援システムリプレイス及び機能追加
- (5) 大学ウェブサイトの充実
- (6) PC教室リプレイス
- (7) CALL教室の機能強化
- (8) 学生情報検索利用または、教育研究支援PCシステムの導入
- (9) 基幹サーバ群のリプレイス:仮想化
- (10) 事務用PCリプレイス
- (11) 情報システム実習室(マルチメディア実習室、ネットワーク実習室)PCリプレイス
- (12) 教員用ノートPCリプレイス
- (13) システム管理業務関連システムの導入

### 3. 国際化に関する事業

- (1) 国際交流の促進
  - 1) 既存の交流協定校に関して
  - 2) 国外協定校との交流内容に関して

### 4. 学生サービスに関する事業

- (1) 奨学金の整備
- (2) バリアフリー対策

- (3) 学業成績不振学生への学習支援
- (4) 8号館壁面修繕等工事
- (5) 12号館クーラー修繕工事
- (6) 厚生会館2階食堂及び3階喫茶室の整備
- (7) 県外就職サポートサービスの導入

### 5. 法人業務に関する事業

- (1) 危機管理の充実
- (2) 職員のキャリア形成の強化
- (3) 大学広報の充実
  - ① 広報基本方針の策定
  - ② 学内情報収集について
  - ③ 学内外への情報提供
  - ④ 大学案内・学報等の広報関係刊行物及び大学グッズの充実
  - ⑤ 大学サイトの充実
  - ⑥ 広報委員会の機能強化
  - ⑦ オープンキャンパスの充実
- (4) 経営対策委員会の設置
- (5) 創立40周年記念事業の促進

## IV 財政計画（予算編成の基本方針）

私立大学の財政上の基本的課題は教育・研究上の要求と財政上の諸条件の持続的調和を図ることであり、大学の教育・研究上の理念・目的の実現を頓挫させるような財政的疎外要因を除去し、その理念・目的を着実にかつ持続的に追求することを可能にするような健全な財政活動を営むことである。このような、私立大学の教育・研究条件の充実・発展の原動力として財政の重要性の認識のもとに本学の財政の適切な運営を図ることを目指して、次の6点を予算編成の基本方針として平成22年度予算を編成する。

- (1) 本学の理念・目的のより一層の実現に向けて、学部及び大学院の教育・研究の質的充実・向上に努める。
- (2) 収支均衡の財政運営を図る。
- (3) 借入金に依存しない財政運営を図る。
- (4) 自己資金が調達できる限度内での施設設備の投資を行う。
- (5) 各課の経常予算要求額は、原則として過去3年間の決算額の平均額と中長期経営計画に連動した額を合算したものとす。
- (6) 環境対応のしくみを構築し、省資源、省エネルギーを推進する。

## 平成22年度予算(概要)

本学予算書は、文部科学省令「学校法人会計基準」に拠って作成されたもので、資金収支予算（資金運用の状態）と消費収支予算（経営維持の状態）の2種類からなっています。平成22年度予算（収入、支出の見積）資金収支予算および消費収支予算の概要は下表のとおりです。

### 平成22年度予算

#### ●資金収支予算

単位：円

収入の部			
科目	平成22年度予算	平成21年度予算	増減
学生生徒等納付金収入	4,685,213,000	4,746,123,000	△60,910,000
手数料収入	81,419,000	81,425,000	△6,000
寄付金収入	46,560,000	46,560,000	0
補助金収入	378,194,000	372,279,000	5,915,000
資産運用収入	73,321,000	68,751,000	4,570,000
資産売却収入	0	0	0
事業収入	12,895,000	11,929,000	966,000
雑収入	98,854,000	124,470,000	△25,616,000
借入金収入	1,350,000	1,350,000	0
前受金収入	2,079,147,000	2,091,823,000	△12,676,000
その他の収入	1,466,957,000	1,237,416,473	229,540,527
資金収入調整勘定	△2,204,331,000	△2,175,051,915	△29,279,085
前年度繰越支払資金	9,302,646,876	9,228,111,658	74,535,218
収入の部合計	16,022,225,876	15,835,186,216	187,039,660

単位：円

支出の部			
科目	平成22年度予算	平成21年度予算	増減
人件費支出	2,633,742,000	2,642,887,000	△9,145,000
教育研究経費支出	1,451,230,000	1,304,477,000	146,753,000
管理経費支出	271,971,000	247,504,000	24,467,000
借入金等利息支出	19,900,000	23,700,000	△3,800,000
借入金返済支出	100,280,000	100,630,000	△350,000
施設関係支出	26,080,000	27,639,000	△1,559,000
設備関係支出	347,085,000	421,344,000	△74,259,000
資産運用支出	639,498,000	772,538,000	△133,040,000
その他の支出	1,218,853,000	1,201,857,540	16,995,460
予備費	40,000,000	40,000,000	0
資金支出調整勘定	△212,784,000	△250,037,200	37,253,200
次年度繰越支払資金	9,486,370,876	9,302,646,876	183,724,000
支出の部合計	16,022,225,876	15,835,186,216	187,039,660

#### ●消費収支予算

単位：円

消費収入の部			
科目	平成22年度予算	平成21年度予算	増減
学生生徒等納付金	4,685,213,000	4,746,123,000	△60,910,000
手数料	81,419,000	81,425,000	△6,000
寄付金	48,960,000	48,960,000	0
補助金	378,194,000	372,279,000	5,915,000
資産運用収入	73,321,000	68,751,000	4,570,000
資産売却差額	0	0	0
事業収入	12,895,000	11,929,000	966,000
雑収入	98,854,000	124,470,000	△25,616,000
帰属収入の部合計	5,378,856,000	5,453,937,000	△75,081,000
基本金組入額	△473,165,000	△578,983,000	105,818,000
消費収入の部合計	4,905,691,000	4,874,954,000	30,737,000

単位：円

消費支出の部			
科目	平成22年度予算	平成21年度予算	増減
人件費	2,618,341,000	2,645,801,000	△27,460,000
教育研究経費	1,838,559,000	1,655,623,000	182,936,000
管理経費	305,435,000	278,914,000	26,521,000
借入金等利息	19,900,000	23,700,000	△3,800,000
資産処分差額	864,000	864,000	0
予備費	40,000,000	40,000,000	0
消費支出の部合計	4,823,099,000	4,644,902,000	178,197,000
当年度消費収入超過額	82,592,000	230,052,000	
当年度消費支出超過額	0	0	
前年度繰越消費収入超過額	3,025,477,217	2,795,425,217	
翌年度繰越消費収入超過額	3,108,069,217	3,025,477,217	



# 寄付者一覧

対象期間：平成21年4月1日～平成22年2月28日

No.	日付	寄付種別	寄付者	金額(円)	備考
1	4月15日	特別寄付金	創立記念ゴルフコンペ校友会収益金	300,000	学生サポート奨学金
2	5月18日	//	本学教職員有志(142名)	2,195,000	学生サポート奨学金
3	7月2日	//	株式会社アイアム	30,000	第11回沖縄県高校生英語HPコンテスト
4	7月6日	//	有限会社モバイルマーケティングオービック	10,000	第11回沖縄県高校生英語HPコンテスト
5	7月10日	//	チエル株式会社沖縄営業所	100,000	第11回沖縄県高校生英語HPコンテスト
6	7月22日	//	沖縄国際大学後援会	42,760,000	奨学資金、施設費等
7	7月22日	//	沖縄国際大学校友会	3,650,000	奨学資金、備品費等
13	9月14日	//	株式会社オーシーシー	30,000	第11回沖縄県高校生英語HPコンテスト
14	10月1日	//	(財)日本英語検定協会	30,000	第11回沖縄県高校生英語HPコンテスト
15	10月14日	//	沖縄フードビジネス会	63,000	産業研基金
16	12月14日	//	有限会社文正堂	50,000	第11回沖縄県高校生英語HPコンテスト
17	12月25日	//	池田光男氏(本学後援会会長)	50,000	学生サポート奨学金
18	12月25日	//	仲宗根仁史氏(本学専任職員)	20,000	学生サポート奨学金
19	2月9日	//	緊急学生支援(本学後援会)	1,500,000	奨学資金
20	2月9日	//	緊急学生支援(本学校友会)	1,500,000	奨学資金
合計				52,288,000	

## 2010(平成22)年度 入学者選抜試験結果

区分 学科	AO			推薦入試			特別入試(前・後期)			一般入試(前期)			一般入試(後期)			センター利用入試(前期)			センター利用入試(後期)			志願者数	合格者数	倍率	編入学(前・後期日程)		
	志願者数	最終合格者数	倍率	志願者数	合格者数	倍率	志願者数	合格者数	倍率	志願者数	合格者数	倍率	志願者数	合格者数	倍率	志願者数	合格者数	倍率	志願者数	合格者数	倍率				志願者数	合格者数	倍率
法律	122	41	2.98	89	54	1.65	—	—	—	109	51	2.14	34	3	11.33	80	20	4.00	16	3	5.33	450	172	2.62	6	6	1.00
地域行政	128	45	2.84	94	54	1.74	—	—	—	123	46	2.67	24	11(1)	2.40	76	20	3.80	12	3	4.00	457	179	1.31	1	1	1.00
経済	96	42	2.29	70	58	1.21	4	4	1.00	114	54	2.11	28	6	4.67	62	20	3.10	23	4	5.75	397	188	2.11	5	5	1.00
地域環境	66	45	1.47	65	59	1.10	4	4	1.00	55	45	1.22	21	9	2.33	30	26	1.15	20	6	3.33	261	194	1.35	3	3	1.00
企業システム	138	43	3.21	83	58	1.43	8	6	1.33	72	42	1.71	15	5	3.00	64	20	3.20	16	3	5.33	396	177	2.24	10	6	1.67
産業情報	92	42	2.19	76	63	1.21	3	2	1.50	76	46	1.65	21	6	2.00	49	12	4.08	12	3	4.00	329	174	1.61	8	7	1.14
日本文化	107	47	2.28	74	54	1.37	10	6	1.67	86	36	2.39	28	9	3.11	64	22	2.91	19	5	3.80	388	179	2.17	3	3	1.00
英米言語	125	45	2.78	88	63	1.40	3	3	1.00	115	46	2.50	44	14	3.14	87	20	4.35	21	6	3.50	483	197	2.45	13	10	1.30
社会文化	58	30	1.93	48	43	1.12	3	1	3.00	56	30	1.87	14	8	1.75	43	18	2.39	8	3	2.67	230	133	1.73	6	3	2.00
人福・福祉	76	37	2.05	41	41	1.00	2	2	1.00	55	48	1.15	10	8(1)	1.43	41	29	1.41	8	3	2.67	233	168	1.39	3	3	1.00
人福・心理	59	22	2.68	63	28	2.25	2	2	1.00	66	17	3.88	51	5	10.20	74	14	5.29	22	2	11.00	337	90	3.74	4	3	1.33
合計	1067	439	2.43	791	575	1.38	39	30	1.30	927	461	2.01	290	84(2)	4.12	670	221	3.03	177	41	4.32	3961	1851(2)	1.61	62	50	1.24

注：倍率＝志願者数/合格者数(小数点第3位四捨五入)

注：地域行政学科及び産業情報学科合格者数の( )については、第2志望での合格者内数となる

注：地域行政学科及び産業情報学科の一般入試(後期)倍率については、第2志望合格者数( )を除いた数字となる

2010(平成22)年度の入学試験は、9月5・6・12・13日にAO入試、11月20日に推薦入試及び特別・編入学試験(前期日程)、2月3・4日に一般入試(前期日程)及び特別・編入学試験(後期日程)、3月4日には一般入試(後期日程)が実施された。また、センター試験を利用したセンター試験利用入学試験も行われた。AO入試は、志願者数1067人に対して、最終合格者数は439人、倍率は2.43倍であった。推薦入試は、志願者数791人に対して、合格者数は575人、倍率は1.38倍となった。また、一般・センター利用入試(前期日程)は、志願者数1597人(一般927人・センター利用670人)に対して、合格者数は682人(一般461人・センター利用221人)、倍率は2.34倍(一般2.01倍・センター利用3.03倍)となった。一般・センター利用入試(後期)については、志願者数467人(一般290人・センター利用177人)に対して、合格者数は125人(一般84(2)人・センター利用41人)、倍率は3.74倍(一般4.12倍・センター利用4.32倍)であった。

## 2010(平成22)年度 大学院入学試験結果

区分 性別	志願者数															合格者数																						
	一般			外国人			社会人			推薦			個別選抜			合計			一般			外国人			社会人			推薦			個別選抜			合計				
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計					
地域文化研究科	南島文化専攻	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	7	9	0	0	0	3	8	11	1	1	2	0	0	0	0	0	0	2	7	9	0	0	0	3	8	11
	英米言語文化専攻	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	人間福祉専攻	11	19	30	0	0	0	1	4	5	0	1	1					12	24	36	0	5	5	0	0	0	0	1	1	0	1	1				0	7	7
地域産業研究科	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	1	3					4	1	5	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	1	3				4	1	5	
法学研究科	3	0	3	0	0	0	4	5	9	0	0	0	0	1	1	7	6	13	3	0	3	0	0	0	3	2	5	0	0	0	0	1	1	6	3	9		
総合計	15	20	35	0	1	1	7	9	16	4	9	13	0	1	1	26	40	66	4	6	10	0	1	1	5	3	8	4	9	13	0	1	1	13	20	33		